

早川 滝雄 君 都合により1時に帰ります。芦田さんの卓話が聞けなくて残念です。

山 崎 勲 君 樋口会長の責任感と3人に水泳をさせてしまったおわびに。

味方 義一 君 昼も夜も大変に楽しく、健康な日曜日でした。親睦委員会の皆さんご苦労さまでした。

淵 岡 茂 君 先週出張の為欠席しました。

稲田 憲治 君 18日(日)楽しい一日でした。高橋さんの水浴と山崎さん、河井さんの飲み過ぎには感謝。／来年はもっと多数の参加を。／

芦田 義重 君 竹下内閣誕生の日に私の卓話で記念に残る1日であります様に。

加 藤 実 君 バーベキュー大会欠席、すみませんでした。

目黒 宣行 君 先日の下田アスレチック大変楽しかったです。親睦委員の皆さんありがとうございます。いました。

卓 話：「私の歩んだ道」 芦田義重



私は三条で生まれ三条で育ちました。実家は五ノ町の豆腐屋で昭和十九年八月二十二日三男としてこの世に生をうけ四十三年になりました。顔は若造りでありますがれっきとした戦中派です。三条小学校を卒業し、三条第一中学校に進み好きな野球部に入り甲子園を夢みた一人であります。その頃は豆腐と油揚げばかり食べさせられたせいかな身長が伸びず、小さい方で悩んだ思い出があります。高校は父親を早く亡くした事もあり母親一人で育てられ家計も苦しく、自から三条高校定時制に入りました。そして卒業後、三条の書家として活躍しておられ

る荻根沢小帆先生と出会い昭和四十年四月今の三条ロータリークラブ会長でおられる熊倉設計事務所に紹介され入社致しました。当初建築の専門学校を出た訳でもないので自分の適職かどうか悩みましたが、荻根沢先生が「石の上にも三年」とすべて忍耐がかんじんなんだ「成せば成る」と励まされ、その一言で不安が吹っ飛び入社させて載きました。そして建築のケの字も知らない男が建築士を目指した訳であります。何にも知らないではどうしようもないので夜間の三条職業訓練校建築部へ入学し三年間勉強しなんとかやって行ける自信が付きました。そして昭和四十八年に横浜市緑区でキンビールの卸問屋の新築設計で鉄筋コンクリート地下一階地上三階建の事務所を一年間現場監理者として現地に常駐した事があります。その時に飲めなかった酒を覚えたのであります。毎日仕事が終わると現場の人達と夕食を共にしていたので毎晩コップ酒を三杯位飲まされました。酒が強くなるのがあたりまえです。そして時々横浜の繁華街へ行ったので給料がいつもカラッポ……、楽しい思い出の一つです。私の先輩が五十二年に独立したので私が事務所のチーフとなりまとめ役になった時、自分もいつかは独立しなければと秘そかな決心をしていました。そして五十五年四月円満退社し開業の運びとなり今日に至っておるわけであります。今考えますと荻根沢先生に出逢っていなければ私の人生も変り一級建築士にもなれなかったと思っております。これも熊倉社長の良

き御指導と御理解の賜のと感謝しております。

私は毎年五月の三条まつりに天狗さまとして羽賀会員と共に行列に参加させて載いております。道祖神会について話をさせて載きます。一説によりますと、文化年間、三条郷民が村上藩主内藤氏の京都所司代となったのを祝って十萬石格式の行列を模して行なわれたのがその始まりとも言われ百五十有余年の伝統をもつ御神興祭で毎年五月十五日、やっこ、傘ぼこ、道祖神、御神興の順に八幡宮の大鳥居から出発、目抜通りを東に向い神明宮を経て田島諏訪神社まで総勢八百人の古式豊かな行列が続く大名行列であります。現在三条道祖神会では十七名で毎年五月一日から二週間精進潔斎に入り全員この日から女性や肉食など一切断ち祭りの日まで続け身も心も清め御神興を先導するのであります。神社を出発する時は必ず二本歯の足駄をはき道中は同じ高さの一本歯の足駄を使用いたします。その足駄の高さは一尺八寸（約五十四センチ）で全国で三条だけだそうです。この伝説、古来そのままの姿を後々に伝える事を使命としている道祖神会であります。この由緒ある道祖神会に入れた事も人との出逢いを大切に生きて来た賜のと思っております。又この北ロータリークラブを紹介して載いた中條、鈴木両会員に厚く御礼申し上げます。

現在事務所を開設して七年目になります。まだまだ修業の身であります但し益々努力を重ね皆様の期待に添える様頑張るつもりですので、会員の方で建物を建てる時必ずや芦田設計に御指名の程宜しくお願い致します。

次回の卓話は阿部会員ですので準備の程宜しくお願い致します。

「サルポアの里」親睦会

親睦委員長 稲 田 憲 治

10月8日朝9時20分、台風一過晴れ、三条商工会議所前、樋口会長を初めとする13名が集合。

「おはようございます」が清々しい北ロータリーの仲間。

10時25分、ガイド嬢を乗せた大型観光バスの到着。これが路線バス？「これで全員ですか…」とガイド嬢。「途中で乗せていくんでしょ」と運転手。超貸し切りに気恥かしさを覚えながら下田へ向けて出発。すでに笹原、五十嵐さんの2人は斉藤さんに送られて陣取りを終えているはず。

所用時間35分。梨本さんとガイド嬢の軽妙なモーニングトークが楽しい。『おきキノコ』（前もって林の中にきのこを置いておく意）の梨本さんの造語を彼女はいたく気に入ったらしい。

無事到着。そして先発隊と遅れて行く組に合流。早速アスレチックへ出発、隊長は梨本さん。女性も全員出発。／＼。あ然とする笹原・稲田の炊事班。

会長のところで採れたきのこ。大野さんのところで採れたきざんだ野菜、煮えくり返るナベ、オロオロするだけの2人。そこへ味方さん登場。／＼地獄に仏。「俺が来たから百人力、2人で遊びに行っていや」そうもならず「何しましょう」「火の番。／」。

しばらくして高橋夫妻、早々のご帰還、季節はずれの水泳とのこと。お色直しの為しばらく中座。

12時、全員帰還。用意しておいたバーベキューに火をつける。高原の空気はいいにおいだらけ。